

# この感動を伝えたい！

## 愛

媛県を中心に、フリーアナウンサーとして活動中の森礼見さんは、香川大学経済学部出身。

レポーターやナレーター、イベント司会のほか、WEBサイト・ピカラタウン内に冠番組「もりひろみみの腹へコリン」を持つなど、幅広く活躍しています。

森さんがフリーアナウンサーとして独立したのは昨年4月。それまでは、香川県のテレビ局・KSBを経て、愛媛県のテレビ局・あいテレビで、アナウンサーをしていました。あいテレビ時代は、バンクーバーオリンピック出場のスノーボーダー・青野令さんや、ワールドカップ・南アフリカ大会でブレイクしたサッカー選手・長友佑都さんのインタビュー番組を担当したこともあります。

しかし当時の森さんは、スポーツの知識が乏しく、自分が選手のインタビューを担当することに不安を覚えたそうです。ところが、本人だけでなく、周りの人も含めてインタビューを続けるうちに、活躍の背景にある苦労や努力に心を動かされました。

「この感動を伝えたい！という思いがとても強くなって、不安に思っていた

ことを忘れていました。限られた放送時間内で選手が持っているすべてのドラマを伝えることはできませんが、スポーツの感動を1%でも多く伝えようとしていました」

こうして高校野球や高校バスケットなど、スポーツ番組をたくさん受け持つようになった森さん。ローカル局では、アナウンサーが取材し、原稿を書き、読み上げるという事情がありますが、逆にそれを生かす、実際に選手に会っているからこそできる表現を心がけていたそうです。

ところで、森さんは、大学卒業直前までアナウンサーに興味がなかったというから驚きです。就職が決まっていた4年生の夏、KSBのローカル番組のタレントとして街でスカウトされたことで運命が変わりました。約半年ほど番組制作に関わるうちに、アナウンサーの仕事が現場で見る機会があり、「人に伝える仕事かしたい！」と気づいたのです。その後の決断に迷いはありませんでした。内定先に謝罪して就職をとりやめ、アナウンサーの仕事に勉強。約1年後、KSBのアナウンサーになりました。

「アナウンサーになるまでに、多くの人に助けられました。その人たちと出会えたのは、地元香川大学に進学したからです」と振り返る森さん。大学受験時、東京の大学に進学したいという思いもあったそうですが、両親のアドバイスで地元の香川大学に進学。入学してみると、教授たちの自由な雰囲気や、楽しく学ぶ4年間を過ごしました。その間、勉強と同じくらい価値があったのが多くの出会いです。地元というところで人の縁が強く、いろいろな人と出会えたことが、今でも財産になっているそうです。

「地元に残ったからこそ出会いのチャンスが増えたと素直に思えます。今の仕事に就いたのも、地元での出会いがきっかけ。ほんと、香川大学に入ってから良かった。親のアドバイスは聞いておくものです」

フリーアナウンサーになって約1年。「人に何かを伝える」という仕事の、難しさや素晴らしさを、より深く実感しながら、今日もマイクに向かう森さんです。

# 森礼見

## PROFILE

もり ひろみ  
フリーアナウンサー  
平成13年度 香川大学経済学部卒業  
KSB(香川県)、あいテレビ(愛媛県)など、ローカルテレビ局のアナウンサーを務め、平成21年4月に独立。



2002年、香川大学卒業式。経済学部校門前で。4年間という時間の流れをはやく感じながらも、ここで数々の出会いや経験ができました。



2008年、あいちテレビニューススタジオにて、スポーツキャスターとしてゼロからのスタート。奮闘の毎日でした。